

第3回 製紙4社によるエタノール／SAF を出口とする検討会 議事次第

[第3回 検討会 開催概要]

日時	2026年9月11日(金) 9時00分～11時00分
場所	NEDO 霞が関オフィス (〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル 20階)

[概要]

木質バイオマスは、バイオものづくりにおける原料として、賦存量や炭素排出量、サーキュラーエコノミーの実現などの観点からその活用が期待されており、中でも、木質バイオマスを原料とするバイオエタノールや持続可能な航空燃料(SAF)は脱炭素社会の実現に資する燃料の1つとして普及が大きく期待されている。その一方で、木質バイオマスを原料とするバイオエタノールや持続可能な航空燃料(SAF)は、既存燃料と比較して一般的にコストが高いという課題や CORSIA 認証適合に向けた課題など、社会実装に向けて乗り越えるべき課題がある。

第2回検討会では、製紙会社4社が提示した木質バイオマス由来エタノールのサプライチェーンの上流・中流・下流別の安全保障価値・環境価値・波及効果を事務局にて整理し、オフテイクへの価値訴求の方向性を意図・背景・訴求対象・網羅性と合わせて議論した。あわせて、業界横断的な取組みの必要性を共有した。引き続き製紙会社と議論を続け、価値換算・定量化を進めることで合意した。

木質バイオマスを原料とするバイオエタノール／持続可能な航空燃料(SAF)の社会実装に向けて、多角的な視点での価値訴求の検討を深めると共に、CORSIA 認証適合に向けて必要な調査・検討を重ねる。

[開催頻度]

- ・ 2か月に1回程度、対面を原則としつつオンライン(Teams)も併用
- ・ 開催場所は基本的に NEDO 霞が関オフィス 分室(大同生命霞が関ビル)

[検討テーマ]

- (1) 木質バイオマスを原料とするバイオエタノールの価値訴求に向けた検討/SAF・その他出口の価値訴求に向けた調査・検討
- (2) CORSIA 認証適合に向けた調査・検討

[第 3 回 検討会進行表]

項目	発表者	時間		内容
①	三菱総研	9:00 9:04	4 分	議事内容のご紹介
②	調査(1) 木質バイオマスを原料とするエタノール/SAF・その他出口の価値訴求に向けた調査・検討			
	三菱総研	9:04 9:19	15 分	(1)オフテイク先業界・商材を念頭にした価値訴求・製紙業界内の 協調内容/(2)金銭換算・定量化の検討進捗 資料説明
	有識者委員より 質疑等(1)	9:19 10:14	55 分	(1)に対する有識者委員から製紙会社委員への質問と回答
	有識者委員より 質疑等(2)	10:14 10:32	18 分	(2)に対する有識者委員から事務局への意見・質疑
	製紙会社委員より 質疑等(2)	10:32 10:44	12 分	(2)に対する製紙会社委員から事務局への意見・質疑
③	調査(2) CORSIA 認証適合に向けた調査・検討			
	東京農工大学	10:44 10:54	10 分	CORSIA におけるデフォルト値算定依頼に向けた主伐材由来 ATJ の CI 値試算に係る検討状況
	質疑等	10:54 10:59	5 分	質疑及び議論
④	三菱総研	10:59 11:00	1 分	閉会挨拶

[第 3 回 検討会参加者情報（敬称略）]

区分	所属	役職	氏名
委員長	千葉大学	名誉教授	関 実
委員	日本製紙連合会	常務理事	原田 隆行
委員	株式会社みずほ銀行	産業調査部 部長	武藤 真
委員	大興製紙株式会社		
委員	大王製紙株式会社		
委員	日本製紙株式会社		
委員	王子ホールディングス株式会社		
オブザーバー	経済産業省商務情報政策局 商務・サービスグループ 生物化学産業課		
オブザーバー	経済産業省 製造産業局 素材産業課		
オブザーバー	経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部 燃料供給基盤整備-		
オブザーバー	国土交通省 航空局 カーボンニュートラル推進室-		
オブザーバー	農水省 林野庁 林政部 木材利用課		
事務局	NEDO バイオ・材料部 バイオものづくり室		
調査受託者	株式会社三菱総合研究所		

以上